第23回 日本手話教育研究大会

2024年2月17日(土)
10：00～15：00

zoomによるオンライン開催

手話教師センター

〈午前の部〉10時～12時　**基調講演** ※大会終了後のアーカイブ配信あり

国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科における手話通訳養成のこれまでの実践と今後の展開

国立障害者リハビリテーションセンター学院
手話通訳学科 教官
野口 岳史 氏

◆プロフィール◆ 横浜市立聾学校卒業、亜細亜大学卒業、2011年からNHK手話ニュース845キャスター、2012年から国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科教官

◆著書◆
全国手話研修センター「厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応 手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう手話で話そう 全面改訂版」編集作業部会 2023
メイツ出版「動画でよくわかる 基本の手話 すぐに使える会話と表現」2013

本学院の手話通訳学科は、平成元年の手話通訳士認定制度が発足に伴い、国内初のモデル養成学校として、平成2年度に設置されました。現在、33・34期生が手話通訳士を目指して授業に励んでいます。私は平成24年、教官に就任し、12年目になります。今回の講演では、手話通訳学科の沿革、カリキュラムや授業の取り組みについて、また手話通訳士の合格率や卒業後の就職について紹介します。養成の現場に関わってきた中で感じた、手話教育の課題点を挙げ、今後の展開についてお伝えしていきたいと思います。

〈休　　憩〉12時～13時　CM

〈午後の部〉13時～15時　**研究発表・報告**

◆内容については、裏面をご覧ください

◆ご注意◆
日本手話のみでの進行になります。(日本語への通訳はありません)

大会参加費
・予稿集PDF
・アーカイブ視聴
※基調講演のみ

法人会員・サポーター ▶ 2,000円
一般 ▶ 2,500円
※お支払いは PayPal 決済のみです。
※お支払い後のキャンセル・返金は致しかねます。

●申込み〆切●
2024年1月27日(土)
※お申込み後、３週間以内にPayPal入金案内を送ります。

申込み先 https://forms.gle/CeNF7mL43wtqpVyE9　申込フォームQR ▶

◆主管「第23回日本手話教育研究大会」実行委員会　◆主催　NPO法人手話教師センター
〈Mail〉jslt.rm@gmail.com 〈Facebook〉https://www.facebook.com/jslt.rm2018/

第23回 日本手話教育研究大会

〈午後の部〉13時～15時　研究発表・報告

研究発表◆「からだ～人や動物の身体の仕組みに関心を持ち、知って、作って楽しめる活動事例～」

発表者：後藤 美幸（明晴学園　幼稚部教諭）

毎月テーマに沿って活動を行っています。今回は学校が始まってから１か月経過した５月時点での活動内容や子どもたちが学んだこと、身に付けたことは何なのか。また、５月での活動が、９月以降の活動とどのように結びついたか、反省点なども含めて発表します。

研究発表◆「日本手話における手指交替について」

発表者：馬場 博史（手話教師センター、関西学院大学非常勤講師）
平　英司（手話教師センターサポーター、関西学院大学非常勤講師）

日本手話では一連の語りの中で、右手指で表されていた語彙が、左手指で表されるようになることがある（本稿では手指交替と呼ぶ）。この現象は、手話の語りの文脈の中で、物理的な手指の構造にも影響され、手話語彙をメタファーなレベルで捉える言語感覚のもと生じる自然な日本手話の語りと考えられる。しかしながら、左右の手指の語彙役割の交替は、これまであまり意識されてこなかった。本研究では、これまで手話教育の中で意識されることがなく、学習者にとって苦手と思われる「手指交替」について、手話学習者とろう者の表現を比較分析し、その違いを明らかにすることで今後の手話指導に資するものである。

視察報告◆「アメリカ東海岸の手話での早期支援について」

報告者：前川 和美（関西学院大学　手話言語研究センター特別任期制助教）
澤田 利江（特定非営利活動法人NPOデフNetworkかごしま理事長）

現在、日本のろう・難聴児は、早期から聴覚を活用した音声言語習得のための訓練が行われており、手話については介入や支援が殆ど行われていない。しかし、言語習得の観点から、早期からの手話での支援＝手話療育も必要である。そのため令和5年度より厚生労働科学研究費「難聴児の手話療育体制整備に関する研究」にて、手話療育の方略を検討するため、アメリカの教育関係機関を視察した。

本発表では、ギャローデット大学、ロチェスター、ボストン近郊の聾学校を中心としたアメリカ手話と英語のバイリンガル教育、手話による早期教育や、保護者対象の手話指導について報告し、手話講師が手話療育にどのように貢献できるか議論したい。

◆主管「第23回日本手話教育研究大会」実行委員会
◆主催　NPO法人手話教師センター
〈Mail〉jslt.rm@gmail.com
〈Facebook〉https://www.facebook.com/jslt.rm2018/